



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

### 東北・熊本大震災から学ぶ < シリーズで考える 4 >

#### 熊本県 小野所長の報告(6月23日 全国情報提供施設協議会総会) ＝日頃の体制が災害時に如実に現れる＝

##### 1. メール、電話リレーのインフラが役立った。

熊本ではインフォメールと電話リレーサービスがとても役に立った。メールアドレスは140名を登録、地元FMラジオの情報を要約して、1日20回情報メールを精力的に送った。  
(水、ご飯等の食料、どこにろう者がいるか等々)

##### 2. 一般の避難所で情報とコミュニケーションの問題がある。

地震直後に厚生労働省の情報支援専門官から、避難所における情報保障について指示が出た。提案されたポスターを貼ってみたが誰も見てくれない等、実際のところはほとんどされていない。車中泊も多く相変わらずうまくいっていない。

##### 3. 福祉避難所から見えてきたこと。

高齢者、病気(高血圧、糖尿病、心臓病など)がちの弱い方が多い。しかし、若いうちの支援者がおしかけ、高カロリーのお菓子等を御見舞いに持ってくると、病気で制限されているものの食べてしまうケースも多い。食べてはいけないものや病気との関連付けての食べ物の学習、講座が必要である。



<写真:全聴協総会 左中央に座っている小野所長>

#### \*これから手話を通してのコミュニティづくり

家屋が壊れていること、余震が続いていること等から仮設住宅、公営アパートの入居が進むことになる。住み慣れた地域・コミュニティから、新しいコミュニティをつくる。ろう者のコミュニティは手話を通してである。日常的な地域生活支援センターやデイサービスを作っていく必要性を痛感した。

平成28年度 前期  
学生向け  
ボランティア  
講座修了 7.6



#### 初の全国情報提供施設協議会

#### 言語聴覚士の課題検討会開催

- 当センターから提案 5市(府)県参加 -

全国の情報提供施設 50 のうち、言語聴覚士が常勤で勤務しているのは10施設と少数です。6月10-11日に京都で開催された日本言語聴覚学会にあわせ、そのうち京都市(府)、富山県、兵庫県、山口県それに佐賀県の5施設の言語聴覚士が初めて一堂に会して課題検討会を行いました。佐賀県から提案し、全国の協議会事務局(京都市聴言センター)のご理解を得て開催にこぎつけました。

兵庫県の岡 恵子先生を座長として、聴こえの相談やろうあ者の聴力測定、補聴器相談、フィッティングの役割分担、学習の場や人材確保等について熱く意見交換を行いました。

全国の事務局でも評価をいただき、将来の専門部会に向けての一歩をスタートしました。



6月1日に始まった学生ボランティア講座が7月6日に全5回の講座を修了した。今回は手話講座に17名の申し込みがあり、14名に修了証書を授与した。

※要約筆記及び字幕の申込はなかった。



## 補聴器シリーズ④

## 補聴器の種類(耳かけ型補聴器)

今月は耳かけ型補聴器についてお話しします。耳かけ型補聴器は耳の上にかけて使用し補聴器の中では最も主流のタイプです。耳かけ型は従来型(図①)とRIC型(図②)の2つがあり、スピーカーの位置に違いがあります。従来型は本体内部、RIC型は本体から分離して耳栓の中にあります。耳栓の中にスピーカーがあることで本体が小さくなり、チューブも細いため従来型に比べ目立ちにくい(図③)、チューブによる音の影響を受けにくく鼓膜まで良質な音を届けることができます。耳かけ形の短所と長所を記載します。

【短所】耳に掛けるため頭にかいた汗が補聴器に付着しやすい、眼鏡の取り外しが多いと邪魔になる、やや目立つ、電話時は補聴器のマイクが耳の上にあるため受話器の位置に配慮が必要です。

【長所】スピーカーとマイクが離れているためハウリングしにくい、重度難聴にも対応、本体が大きいため様々な機能を付けられます。(FM装置、外部機器入力端子など) — 引用文献・参考文献 —

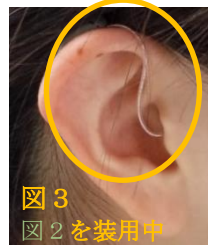
・よくわかる補聴器選び 2016 (監修/著 関谷芳正)・「聞こえ」に不安を感じたら… (著者 河野淳)



図①



図② スピーカー



図③

図②を装着中

## 手話パフォー



## 嬉野高校

第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の予選審査

会は8月9日(火)。予選3分間の動画(DVD)で

いかにメッセージを伝えるか、必死で

課外授業

考え、必死で練習して

「みんなちがって

思いの丈をぶ

みんないい」が、6月21日

つける。

(嬉野)と、6月30日(神埼清明)に

行われた。いずれも、当事者から事例を通じ

合理的配慮等について学んだ。実践に活かして欲しい。

## 神埼清明高校



## 《シリーズ要約筆記②》 要約筆記の歴史

③は、1960年代後半、OHPの出現で変革のときを迎え、普及につながりました。2000年に第二種社会福祉事業に、2011年にはより高度な通訳者養成を目的に者養成カリキュラムが制定され現在に至っています。そして今、いろいろな音声認識ソフトがあります。使えば使うほど、人間の機能の素晴らしさを実感しますが、同時に使い次第だと可能性を感じています。新たな変革期になるのでしょうか。



### \*巡回 聴こえの相談 inみやき町 中原庁舎

※予約制 8月17日(水) 10:00 ~ 15:00  
予約制で聴力測定、難聴者のピアカウンセリングを行います。聴こえに不安がある方が対象です。

### \*巡回 ろうあ者相談(ピアカウンセリング)

8月9日(火) 15:00 ~ 20:00  
唐津市障がい者支援センター「りんく」

### \*おしゃべり広場(難聴者)

8月26日(金) 13:30 ~ 15:30 センター

### \*土曜上映会 in サポートセンター

8月20日(土) 10:00 ~ (2時間程度)

※聴覚障害者対象です。上映内容・未定。



編集後記:発行時期は九州も梅雨明け。いよいよ夏本番、熱中症・夏バテには気をつけましょう。kiyo.

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商ビル4階)  
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705  
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp  
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

### <開館時間>

9:30 ~ 18:00  
9:30 ~ 20:00(水曜)

### <閉館日>

月曜日、祝日